

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(5年計画の1年度目)

1. 研究課題

(和文) 術数学-中国の科学と占術

(英文) Study on ShuShu : Science and Divination in China

2. 研究代表者

(氏名) 武田 時昌

3. 研究期間

平成22年4月 から 平成27年3月 まで

4. 研究目的 (400字程度)

術数学は、自然科学の諸分野と易を中核とする様々な占術とが複合的に絡み合った中国に特有の学問分野である。東アジア世界の科学文化を構造的に把握し、学問的な本質や特色を明確にするには、近代科学の先駆的業績として離散的な発見、発明を時系列に並べて顕彰するだけではなく、当時の科学知識がいかなる役割を担っていたかを分析的に考察する必要がある。そのような研究を遅滞させている最大の要因は、術数学がほとんど未開拓のままに放置されているところにある。そこで、術数学を総合的に研究するプロジェクトを立ち上げることにした。

研究の手がかりとして、近年出土した簡帛資料には先秦から漢代に至る科学や占術に関する論説が満載されていることが注目される。また、日本に残存した『五行大義』『医心方』や陰陽道資料にも、中世の術数書の佚文が多数引用されており、きわめて有益である。それらの読解を通して、術数学の全体像を解明し、理論構造の特色を探る。

5. 本年度の研究実施状況 (400字程度)

2010年度は、ゲストスピーカーの特別講演と班員による研究発表を行う研究集会を毎月1回開催し、同時に『五行大義』の会読を行った。招聘したゲストスピーカーは、小寺裕 (近畿和算ゼミナール世話人)、小澤賢二 (安徽師範大学客座教授)、大野裕司 (北海道大学O.D.)、三浦國雄 (大東文化大学教授)、白杉悦雄 (東北芸術工科大学教授)、NGUYEN THI Duong (阮氏楊、ベトナム社会科学院・漢喃研究所研究員) の各氏である。

また、天文暦法、医薬学、中国占術等の主要文献を読解する共同研究会を毎月2回行った。取り上げたテキストは、張杲『医説』、張衡『靈憲』、方以智『物理小識』等である。

特別講演及び研究発表の演題は以下の通りである。なお、2011年3月13日に大正大学にて術数学シンポジウムを企画したが、東日本大地震のために当初に予定した大規模な研究集会が実施できず、2011年の秋に延期して開催することにした。

6月6日（藪内清博士追悼東アジア科学史研究集会）

武田時昌「中国数学史研究の新たなる地平」

小寺 裕 「浪速の和算家たち」

6月19日

熊野弘子「岡本一抱『格致余論診解』に見える中国医学概念の解釈」

7月19日

小澤賢二「中国出土竹簡情報最前線」

大野裕司「出土術数文献による思想史研究」

9月11日

坂出祥伸「中山城山『黄庭内景経略注』について」

三浦國雄「国際ワークショップ「東アジア術数学知識の交流と伝播」参加記」

10月2日

白杉悦雄「古代養生説の理論的枠組み—出土文献を中心に」

真柳 誠 「ベトナム医学形成の軌跡」

NGUYEN THI Duong（阮氏楊）「阮朝時代のベトナム東医学」

10月30日

金 志玪「上清経における水と火のシンボリズム」

古藤友子「四時宜食をめぐる議論と五行説」

12月7日

森村謙一「五行、五数と植物」

1月8日（土）

清水浩子「三十六禽小考」

岩本篤志「敦煌秘笈」中の具注暦日について

6. 研究成果の概要（400字程度）

2010年度は、特別講演、研究発表に関しては、術数学の学問的輪郭を明確にするところに力点を置き、各自の専門とする分野との関連性を中心に討議を行った。また、術数学研究会を立ち上げるための試行的研究会であり、昨年度に終了した陰陽五行研究会の成果報告として寄稿された論文の中で、術数学研究に関連の深いものについて研究発表を行い、内容的な検討を加えた。本年度の討論、読解の成果を踏まえた最終的な研究成果の一部は、拠点の出版経費を用いて『陰陽五行のサイエンス 思想編』と題する研究論文集（武田時昌編、18名による共著）を刊行した。

国際的な研究交流、共同研究については、2010年9月11日に、韓国での術数学国際ワークショップに参加した三浦國雄氏を招いて講演してもらった。術数学に関する日韓共同研究プロジェクトは、術数学研究会の立ち上げ当初から三浦研究グループとは別に企画していたものであったが、今後は双方で連携することで合意し、2011年度の第2回国際集會に参加することを決定した。また、中国に関しても、長沙、武漢の秦簡出土資料の研究グループや中国科学院自然科学史研究所の研究者と今度に共同研究を推進することを協議するなど、国際的な研究体制の準備を整えた。

7. 共同研究会に関連した公表実績（出版、公開シンポジウム、学会分科会、電子媒体など）

公開講演会：

2010年6月6日 「藪内清博士追悼東アジア科学史研究集会」

出版物：

2011年2月25日 『陰陽五行のサイエンス』（武田時昌編、人文科学研究所）

電子媒体：

『五行大義』本文、訳注&引用書データベース（研究会HPにて公開）